

令和4年度和光市立下新倉小学校 第3回 学校運営協議会議事録

1 開催日時 令和5年1月31日（火）10:00～12:00

2 場 所 和光市下新倉小学校 第一会議室

3 出席者 山崎 すみ子 柳下 澄江 村山 敦子 安藤 泰邦 大久保 昭男
丹羽 政彰 福田 由佳 藤原 啓 高橋 郁美 鈴木 美恵

4 あいさつ

校長より：今年度の重点目標の進捗状況や2学期の教育活動についてお話し、学校運営協議会の皆様と今後の方向性について考えるため、目指す児童像と本校の願いについて熟議したいので、よろしく申し上げます。

5 協議内容

(1) 今年度の重点目標と進捗状況について

○校長より説明

①体力向上については、昨年度学校評価での保護者の評価が低かった項目であった。

今年度の担当が力を発揮し、運動会、陸上大会、サッカー大会等を開催できた。

子供の体力も向上している。

②タブレット端末については、順調に活用が進んでいる。

埼玉県 ICT 活用プロジェクトチーム市町村プロジェクト管理職オンライン番組で学校の取組を配信した。参加者が233名。たくさんの質問が寄せられ、反響の大きさを感じた。

③コミュニティスクールについては、一番の重点目標としていたが、まだ十分活用されていない。

主幹教諭の尽力により、学校応援団の活用は進んでいる。

④心理的な仕事の負担軽減については、負担感をなくす取組を行ってきた。教職員が和気あいあいとチームワーク良く働いている様子であり、負担感が減ってきている。

○質疑応答

質問1：埼玉県 ICT 活用プロジェクトチーム市町村プロジェクト管理職オンライン番組は参加者が集合した研修会で流されたのか。

回答1：県の ICT 教育推進課が ICT 教育を推進するために、先進的に取り組んでいる学校を紹介するために配信した番組の中で配信された。

質問2：寄せられた質問には回答したのか。

回答2：その場で答えられることには、答えた。答え切れなかったことについては、一覧にまとまって文書として送られてきたので、すぐに回答し、返送した。

質問3：質問の内容は、どのようなものか。

回答3：ICT教育を推進する時の課題や調整の仕方について。また、働き方改革にどのように役立ったのかについてなどである。本校としては、いつも行っている取組である。

感想1：コロナのころからタブレットが普及したが、方向性を定めてできることは何かを考え、無理せず積み重ねてきたことが大きな成果となっている。

負担軽減については、職員室が教職員にとって居心地がよいかどうかによる。管理職の言葉かけが大切である。

(2) 目指す児童像と本校への願いについて

①校長より：本校で無理なくできて、コミュニティスクールの進むべき方向性についてしっかり熟議されていない。目指す児童像等について地域や保護者と乖離がないか、この学校運営協議会で目指す児童像等について熟議したうえで、来年度の経営計画を立てたい。

②今年度の児童像の読み合わせ

③質疑応答

質問1：目指す児童像の目標はどれもよいが、重点化することが大事であるがいかがか。

回答1：その通りである。学校、家庭、地域での児童の様子は違うと思うので、学校運営協議会で目指す児童像について話し合い、決めていきたい。

意見1：目指す児童像に地域が入っていることがよい。学校で行事等何が行われているのかわかりにくい部分がある。

意見2：地域にかかわりがないとどのような人がいるかわからない。地域の人と大人が顔見知りとなり誰がいるかわかると、協力しようとなる。今後地域でも様々な行事が復活と思うので、保護者の協力が一人でも増えればよいと思う。

意見3：引っ越してきた者にとって地域についてわからなかったが、PTA活動を通して少しずつ分かってきた。地域に対する考え方は保護者の意識が子供に影響すると思う。子どもの中では、地域というより下新倉小学校に対しての意識が強いと思う。

意見4：学校を愛する気持ちは大きいと思う。コロナ禍で3年間学校行事に参画できなかった。地域と触れ合う機会もなかった。今後、目標を重点化して協力して目指す児童像に近づけていきたい。

意見5：地域の捉え方が3，4年前と今では、だいぶ違いがある。子どもは未来の社会で生きるものであり、地域を体感しないで大人になって地域を愛するようになるとは考えにくい。子どもが時間軸空間軸の中成長したときに地域についていい街だと体感できるようにこれから取り組んでいく。そのために、目指す児童像について目標を共有化し、学校、家庭、地域の役割を明確にすることができることを行っていくとよい。

(3) 2学期の教育活動について

主幹教諭からパワーポイントでの説明。

質問1：学校応援団の参加が多いが、参加者は保護者が中心か。

回答1：のべ130名が登録し支援にあたってくれた。参加者の子どもの学年ではないところでの音楽活動支援もしてもらった。

今後地域の方や卒業生も参加してもらえるよう広げていきたい。

(4) その他

①第4回学校運営協議会兼学校関係者評価委員会開催について

令和5年2月27日(月) 10:30より開催予定

②卒業証書授与式について

③NHKの取材について